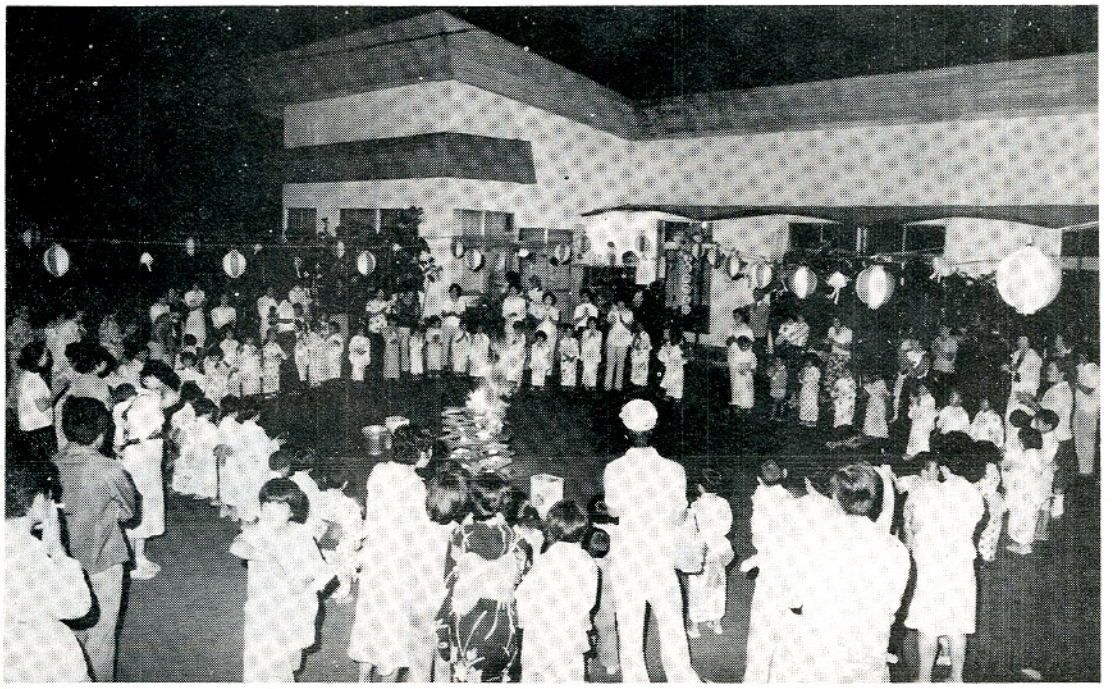
広報
さめがわ
昭和54年
9月号
No. 309
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町佐藤印刷所



ゆく夏を惜しむ　たのしい花火大会

今年の夏は比較的高温の日が続きましたが、時に気温の低下したこともあって、標高の高い地域では一部に稲の稔実障害も出ました。しかし成熟期の気象次第でまずまずの収穫が予想されています。

学校の夏休み中は子供さんたちに大きな事故もなく、みんな元気な姿で新学期の登校日を迎えました。

保育所や児童館では夏休みがなく、子供さんも先生も無事故で盛夏をすごしましたが、8月30日31日の夜、多数の父兄も参加して花火大会を催し、たのしいひとときをすごしました。

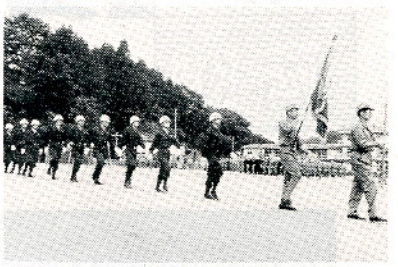
- ⦿ 15日　鮫川村敬老会
- ⦿ 16日　家庭の日（第3日曜日）
- ⦿ 21日～30日　秋の全国交通安全運動
- ⦿ 22日　鮫川村戦没者追悼式
- ⦿ 交通事故防止コンクール実施中　7月1日～12月31日

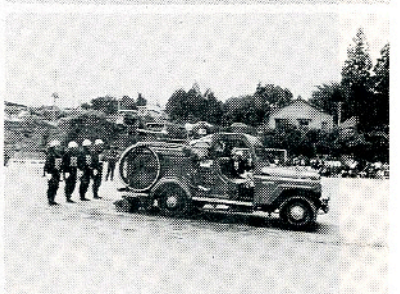
今月の人口

（9月1日現在）

		前月比
人口	5,753	（－7）
男	2,870	（－8）
女	2,883	（＋1）
世帯	1,165	（－3）

炎天下勇壮な消防操法競技









8月4日、塙小学校校庭で勇壮な消防操法白河地方大会が開かれ、鮫川村消防団からは選手としてポンプ車の部に第4分団（渡瀬）、小型ポンプの部に第1分団（真坂班）が出場し、立派な競技ぶりで注目を集めました。

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

みんなで交通マナーを高めよう！

交通事故防止コンクール実施中

村長のしみ(5)

こころの福祉についての考察

村長　石田卯子八

老人医療費の無料化が国の制度として実施されたのは昭和四八年のことで、福祉元年といわれたものです。

しかし、ここ数年景気の低迷に伴って国も地方も税収の伸びが低下し、財源的に困難性が増してくると、行政が行うべき福祉の在り方や限界についての論議が盛んになってきました。

何でもタダにすることが福祉である筈はなく、真に福祉とは何かについて考え直さなければならない時期に来たといえるかと思います。

現に大蔵省は五一年に入ってから国の予算編成期に、医療費無料化を見直すべきであるという意向を示しました。

しかし、福祉は財政が困難になったから切りすてる、豊かになったから手厚くするというものであってはならず、社会共存の原理に基づいて、行政が当然の責務として行うべきであると思うのであります。

それには一定の原則や制限がなければならないし、現金をバラ撒くだけの福祉、無限界に料金負担をなくす、思いつきや場当りの福祉であってはなりません。

行政が行う福祉とは、社会が公的に扶助を必要とする劣弱な条件をもって生活する心身障害者、難病、母子、自立するに足る所得のない老年者などに、健康で働く能力をもつ人たちの負担で、援助の機能を発揮することであると思います。

高所得層まで医療費を無料化したり、各種料金などを無制限に低減するのは誤りというべきであります。

横浜市で老年者にバスの無料券を交付したことがありますが、バスの中の空席は若者によって占領され、老年者たちはつり皮につかまって、よろめきながら立っているという現象を呈しました。

福祉は老年者に無料券をくばることではなく、市民の一人一人が老年者にいたわりの心をもつことであると、当時の市長が述懐しました。

イギリスにはタスクホースという団体があり、夏休みに入る前の三週間、中学生が老人家庭や病院に入院している老人を訪問して、話相手になり、車いすを押したり、庭の掃除、壁紙のはりかえなどの奉仕をするということです。

この心づかい、この体験が老年者と若い中学生の心のふれあいとなり、心の福祉を高め、奉仕の尊さ、高令者を敬う態度を育てる大切な教育であると思うのであります。

！それぞれの持ち場で生かせ火の用心！

おめでた

七月

大久保　生田目満　父生田目芳幸
青生野　本多　務　父本多一郎

八月

青生野　森田裕子　父森田弘二
真坂　田子理恵　父田子照美
馬場　鈴木則子　父鈴木正己
岩野草　須藤勝広　父須藤　正
青生野　新妻さゆり　父新妻正司
押野　山本　勝　父山本勝夫

おくやみ

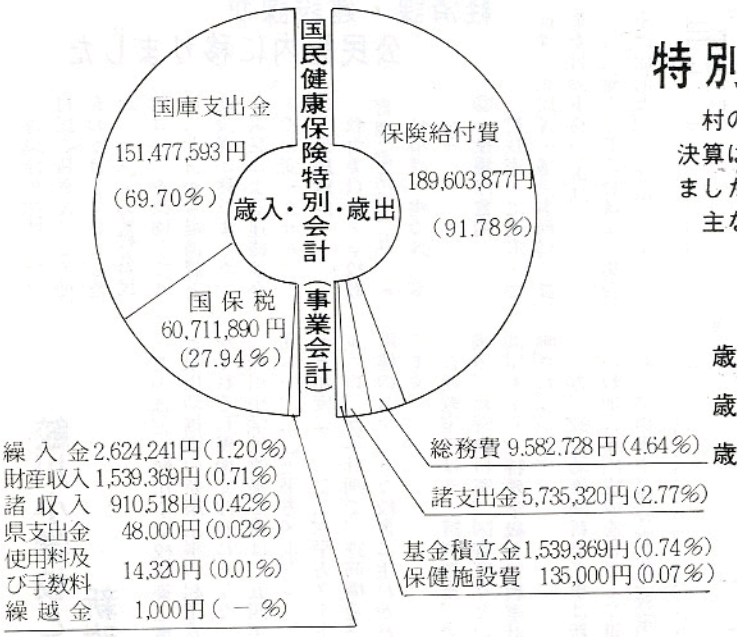
八月

大戸中　小松喜重82才　小松　保
戸倉　関根仁市48才　関根信政

昭和53年度
特別会計決算の状況

村の昭和53年度国保会計など特別会計の決算は、8月25日の臨時村議会で認定されました。

主な内容は次のとおりです。



歳	入	217,326,931円
歳	出	206,596,294円
歳入歳出差引残額		10,730,637円

うち国民健康保険給付費支払準備基金に繰入れる額
4,765,637円
昭和54年度会計に繰越す額
5,965,000円

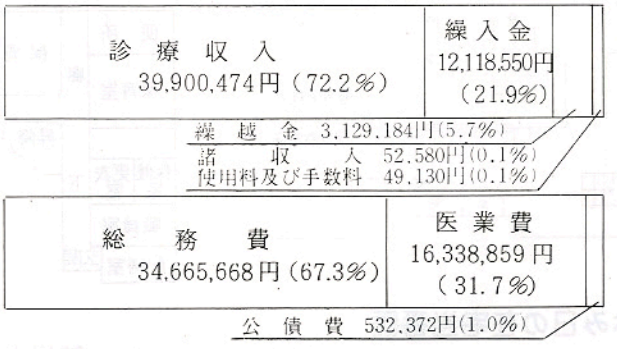
国民健康保険特別会計（直診会計）

歳　入　55,249,918円

歳　出　51,536,899円

歳入歳出差引残額
3,713,019円

（昭和54年度会計に繰越す額）



紹介
新しい村政モニター

今年度の村政モニターは各行政区長の推せんにより、九月一日付で次の方々が委嘱されました。

村政モニター制度は、広く村民の声を聞き、それを村政に反映させ、健康で明るい豊かな村づくりを進めるため設けられています。

モニターの方々には一年間ご協力いただくことになります。

⊙赤坂西野　吉田良一、高坂盛栄、石井とよ子、舟木ミツエ
⊙西　山　本郷貢、阿久津孝夫、関根一好、大竹良、水野キク
⊙赤坂中野　鈴木重隆、鈴木優、前田吉之助、田中義明、鈴木和光
⊙赤坂東野・石井草　斉藤平四、前田栄、円井利一、宗田雅之、鈴木次男、渡辺千代子
⊙富　田　小田川サク、国島紀元、松本一
⊙渡　瀬　藤田好幸、山形末次、蛭田完治、星栄
⊙青生野　大竹光寿、長久保誠一、岡部れい子

簡易水道会計

（歳入） 区分	金額（円） 構成比	（歳出） 区分	金額（円） 構成比
使用料及び手数料	4,476,581 (42.84%)	施設費	3,906,429 (39.93%)
繰入金	3,363,000 (32.18%)	総務費	3,429,958 (35.06%)
諸収入	1,831,687 (17.53%)	公債費	2,447,550 (25.01%)
分担金及び負担金	625,000 (5.98%)		
繰越金	153,312 (1.47%)		
歳入合計	10,449,580	歳出合計	9,783,937

歳入歳出差引残金　665,643円
（昭和54年度会計に繰越す額）

心配ごと相談　9月20日　開発センター

経済課・建設課が公民館内に移りました

役場庁舎が狭いため、村民の皆さんにご不便をおかけしていましたが、このたび村公民館ロビーを改修して八月二七日から経済課と建設課が移りました。

電話による連絡は今までと変りません。

◎公民館内

教育委員会・学校教育課（電話三一五一）

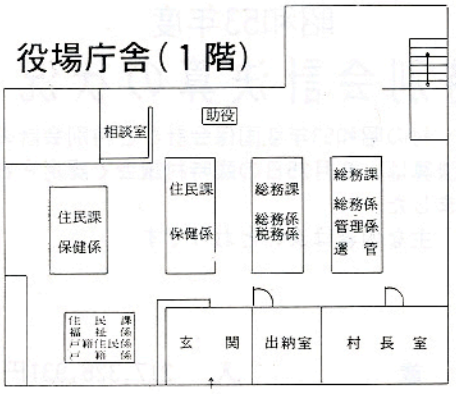
経済課・建設課（電話三一一一）

◎役場庁舎内

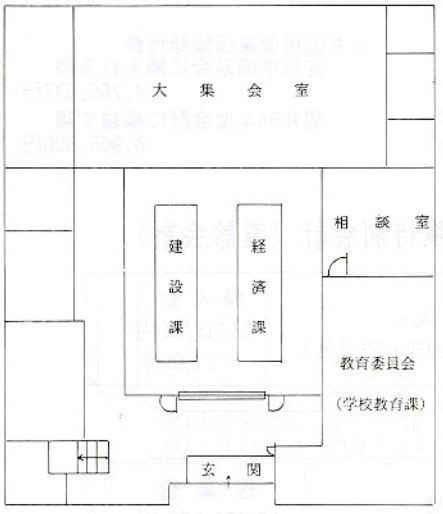
村長室・出納室・総務課・住民課・議会事務局・農業委員会事務局（電話三一一一）

◎公民館の二階の会議室と集会室は従前と同じく使用できます。

役場庁舎（1階）



公民館



鮫川小学校と幼稚園の新改築工事始まる

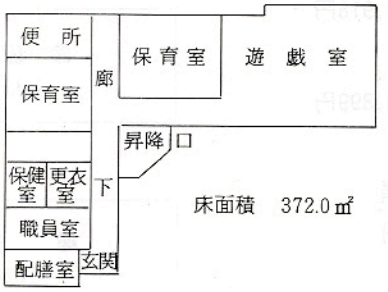
このほど、鮫川小学校改築工事と鮫川幼稚園の新築工事の起工式がそれぞれ現地で行われました。

鮫川小学校改築工事は、五四年度（一、二〇三平方メートル）、五五年度（一、二二六平方メートル）の二か年計画で、鉄筋構造三階建のスマートな校舎に生れかわります。

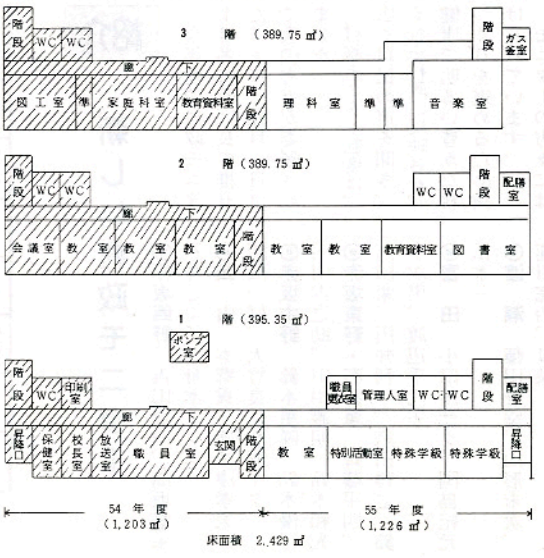
普通教室のほか、特別教室、会議室、教育資料室、図書室などの部屋もあり、特殊学級も二教室計画されています。

一方、鮫川幼稚園新築工事は新しい敷地に年内完成を目ざして進められています。保育室が二教室、職員室のほか、遊戯室も造られる予定で園児たちは今から新園舎ができるのを楽しみにしています。

鮫川村幼稚園新園舎平面図



鮫川小学校改築校舎平面図



鮫川小学校舎は現在校舎の位置に改築されますが、幼稚園舎は巡ケ作地内鮫川診療所から北西の位置に新築されます。

休み日の在宅当番医

（9月～10月）

月日（曜）	当番医院		
	棚倉町	塙町	矢祭町
9月2日（日）	勝田	石川	木村
9日（日）	菅原	厚生病院	慈泉堂
15日（土）	薄葉	中島	木村
16日（日）	大木	根本	菊池
23日（日）	菅	厚生病院	慈泉堂
24日（月）	棚倉町診療所	車田	木村
30日（日）	和田	石川	慈泉堂
10月7日（日）	阿部	厚生病院	木村
9日（火）祭り	藤田	（平常）	（平常）
10日（水）	勝田	中島	慈泉堂
14日（日）	菅原	根本	木村
21日（日）	薄葉	厚生病院	菊池
28日（日）	大木	車田	慈泉堂

〝お年よりに親切を〟
―9月15日は敬老の日―

九月一五日は「敬老の日」です。

村内では四八名の方が今年七〇歳に、二二名の方が八〇歳になられました。

お年よりの皆さんは、これまで永年にわたり社会に貢献してこられました。長寿をお祝いするとともに心から親切にしてあげましょう。

老人福祉週間
9月15日～22日

お年よりに　健康と生きがいを

最近五年間のわが国の平均寿命の伸長速度をみると、年平均で男性が、〇・四四年、女性で〇・四〇年伸びています。

このように平均寿命が伸びた原因には、国民全体の衛生に対する意識が高まり、医学技術が急速に進歩したことがあげられます。

乳児死亡が著しく低下したことに加えて抗生物質が大きな役割を果たし、結核などの伝染性疾患による死亡率が、激減したことがおおきな原因です。

また、わが国の老齢人口（六〇歳以上）は、現在一、四〇〇万人で今後は急速に増加し、二六年後の昭和八〇年には、人口一〇〇人当り二〇人を超えると予測されており、高齢化社会を迎えるわけです。

人間誰でも老人になります。お年よりの社会福祉が、生きがいのある生活を営むには、国民の一人一人が力を合わせ、尊敬と思いやりの配慮が必要であります。

鮫川村の高齢者数

（人）54.9.5現在

行政区＼年齢・男女別	70歳～79歳			80歳～89歳			90歳以上			今年70歳	今年80歳
	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
赤坂西野	25	33	58	9	14	23	0	1	1	7	3
西山	23	31	54	9	9	18	1	0	1	13	6
赤坂中野	30	32	62	6	10	16	1	0	1	5	1
赤坂東野石井草	29	39	68	8	18	26	1	4	5	11	5
富田	16	21	37	4	7	11	0	0	0	1	1
渡瀬	26	35	61	7	15	22	0	1	1	8	6
青生野	9	15	24	3	1	4	0	1	1	3	0
合計	158	206	364	46	74	120	3	7	10	48	22
前年度	153	194	347	46	66	112	4	8	12	52	17

最高齢者　渡瀬・中山　芳賀タツさん（99才）

人口老齢化速度の国際比較

国名	60歳以上人口比率の到達年次		所要年次
	8％	18％	
フランス	1788年	1965年	177年
スウェーデン	1860	1963	103
イギリス	1910	1966	56
ドイツ	1911	1965	54
日本	1955	1995	40

（資料）厚生省「昭和51年度厚生白書」

よろこばれる　入浴乾燥車の運行

ねたきり老人や、重度の身体障害者など、長い間入浴していない方のために、入浴乾燥車を運行しています。

現在村内では、五名の方が毎月入浴と布団の乾燥をうけており、大変よろこばれています。

この事業は、東白川社会福祉協議会の事業で実施しております。

ねたきり老人や、重度の身体障害者の方で入浴乾燥車の希望がありましたら、地区担当民生委員にご連絡下さい。

詳しいことは、住民課福祉係へおたずね下さい。

（住民課）



おじいちゃん　おばあちゃんへ

一ねん　せきね　せいいち

きょう、おじいちゃんにかたたたきをしました。

ぼくは、てがいたくなるほどたたきました。

おじいちゃんは、

「いいきぶんだな。」

といいました。

おじいちゃんは、うれしそうでした。

だから、ぼくは、てがいたくてもがまんしてたたきました。

このまえは、おばあちゃんが、山へいくときついてあるくぼうがなかったので、ぼくは、そこいらじゅうさがしてあげました。

そしたら、おうちのうらのいしのところにたおれていました。

ぼくは、よろこんでおばあちゃんのところまでもっていきました。

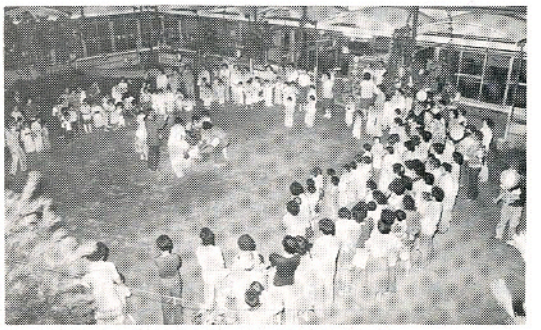
おばあちゃんは、ぼくのかおをみてよろこびました。

おじいちゃんおばあちゃん、いつまでもながいきしてください。

（西山小学校）

夏の夜のたのしい想い出

子どもとお年寄りを



▲鮫川保育所のキャンプファイヤー





▲渡瀬保育所のたのしい花火とお遊戯



西山児童館のにぎやかなお遊戯の集い。

秋の全国交通安全運動
9月21日～30日

交通事故から守ろう

九月二一日から三〇日までの一〇日間、秋の全国交通安全運動がくり広げられます。

期間中は特に次のことに注意して交通事故をおこさないよう、あわないようにしましょう。

子どもと老人の交通事故防止

◎ 自転車、オートバイ利用者の交通事故防止

◎ 安全運転の確保とシートベルト着用の推進

に重点をおいて実施されます。

歩行者

◎ 道路は右側を歩きましょう。

◎ 道路へ急にとび出すのはやめましょう。

運転者

◎ 交差点では徐行・一時停止をしましょう。

◎ 法定速度を守りましょう。

◎ 歩行者、自転車に乗っている人のそばを通るときは徐行しましょう。



危険物の貯蔵取扱いについて

最近の石油事情により、各家庭事業所等において危険物の貯蔵量が増大し、大変危険な状態にありますので、貯蔵する場合は次の点を厳守して下さい。

一、貯蔵は必要最少限とし、指定数量未満の貯蔵取扱とすること。

（指定数量、ガソリン一〇〇リットル、灯油、軽油五〇〇リットル）

二、屋外に貯蔵する場合は、容器かタンク、ドラム缶の場合一メートル、その他二メートル以上の空地を保つこと。

三、屋内に貯蔵する場合は、不燃材で造られた建物内に貯蔵すること。

四、標識（火気厳禁）、掲示板（少量危険物貯蔵取扱所）を設けること。

五、一般家庭以外での貯蔵は、消防署へ届出る義務があります。

（棚倉消防署鮫川分署）

広報についての ご意見・要望をお寄せ下さい

「広報さめがわ」をよりよい紙面にしてゆくために、村民の皆さんからのご意見ご要望をお待ちしています。

広報について、気付いたことや原稿などがありましたら役場総務課までお寄せ下さい。

固定資産税第三期
国民健康保険税第四期
納期限 9月25日

農業者年金

加入期限をのがした人でも加入できます

農業後継者としての加入の資格がありながら、加入の時期が遅れたため、加入できなかった人が今度特別に加入できるようになりました。

救済により加入できる人

大正八年七月三日から昭和一五年一月一日までに生まれた人で、次の要件をすべて満していること。

① 『生年月日』ごとに定めている基準日において、後継者としての加入要件を満していること。

② 加入を申し出る日において、六〇才未満（六〇才の誕生日の前々日）であること。

ア、親など（父母・祖父母など）（基準日における経営主）が加入の申し出日においても農業経営主である場合には、親などから農業の後継者として指定された人であること。

イ、親などが加入の申し出日において、農業経営主でなくなっている場合には、基準日において、親など（経営主）の名儀の農地等の二分の一を超える部分を承継していること。

③ 基準日から申し出日まで引き続き国民年金の被保険者であったこと。（出稼ぎ等で被用者年金に短期間加入した人には、特例があります。）

加入の申し出期限

加入の申し出ができる期限は**昭和五四年一二月三一日までです。**

なお、大正八年生れの方は、六〇才の誕生日の前々日までに加入の申し出をしなければなりませんので、注意して下さい。

特例納付金の額

加入の申し出をした人は、基準日から申し出日の前月までの期間について、**一か月につき三、六〇〇円の特例納付金を昭和五五年一二月三一日まで**に納付することができます。

詳しくは農協、農業委員会にお尋ねください。

（農業委員会）

生年月日	基準日
大正8年7月3日～大正9年1月1日生まれ	昭和49年7月1日
大正9年1月2日～昭和11年1月1日生まれ	昭和50年1月1日
昭和11年1月2日～昭和12年1月1日生まれ	昭和51年1月1日
昭和12年1月2日～昭和13年1月1日生まれ	昭和52年1月1日
昭和13年1月2日～昭和14年1月1日生まれ	昭和53年1月1日
昭和14年1月2日～昭和15年1月1日生まれ	昭和54年1月1日





鮫川村で公用車を運転している運転手7名と、総務課職員3名、駐在所勤務警察官1名は、8月11日、毎日お世話になっている道路のカーブミラーや標識の清掃を奉仕作業で行ない、あわせて空カンの回収、見通しの悪いところのヤブ雑草の刈払いまで実施して感謝されました。

お知らせ

一〇月のゴミ収集日

一〇月のゴミ収集日は次のとおりです。各家庭のゴミは袋等に入れ散乱しないよう収集日の朝持ち出しましょう。

なお、燃えないゴミは各コースともに一週間おきに収集するのでご利用下さい。

収集コース	種別	10月
江竜田～中野町～彦次郎～広畑～新宿（新宿橋まで）	可燃物	毎週月・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日）8日、22日
新宿（新宿橋から）～道少田～大塩コース	可燃物	毎週火・木曜日
	不燃物	（隔週月曜日）8日、22日
真坂～茅～酒垂～宝木～水口～宮沢コース	不燃物	（隔週水曜日）3日、17日、31日
越虫～青生野～戸草～蔵ノ草～宮代～遠ケ竜コース	不燃物	（隔週火曜日）2日、16日、30日

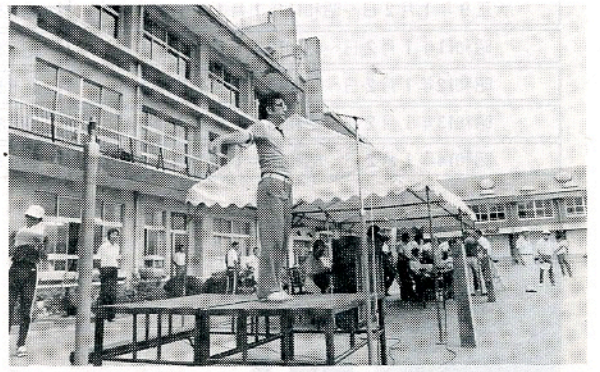
※ 収集日が休日の場合は、ゴミ収集は行われませんので、次回の収集日に出して下さい。



◎ ゴミのないきれいな村は、みんなの心がけから

固定資産税 第2期　国民健康保険税 第4期　納期限　9月25日

ラジオ体操会ＮＨＫから全国放送

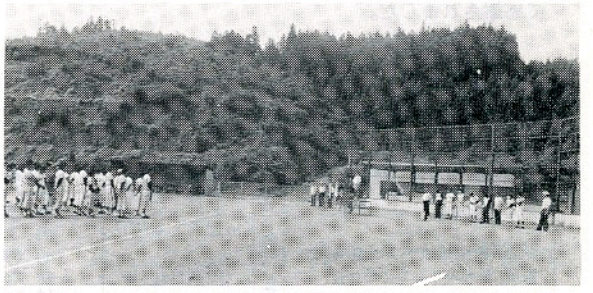




ＮＨＫ、簡易保険局、全国ラジオ体操連盟主催の夏期巡回ラジオ体操会が、８月17日鮫川中学校校庭で開かれました。

講師はテレビでおなじみの柳川英麿先生。参会者は村内各小中学校児童生徒に一般村民も参加して大変な盛会でした。

続いて鮫川郵便局主催のラジオ体操コンクールも開かれ、体操一色のにぎわいとなりました。



第29回鮫川村野球大会は、８月12日村民運動場で開かれ、７チームが出場。熱戦の結果光友クラブが優勝しました。

お知らせ

健康づくり秋季大会実施要項決る

去る八月二八日、山村開発センターで地区体協会長、各部長さんが出席して、昭和五四年度鮫川村健康づくり秋季大会打合せ会議を開き、次のように決定されました。

昭和五四年度健康づくり秋季大会実施要項

一、目　的　スポーツの練習や試合を通じて、村民の健康づくりと相互の親睦を図る。

二、実施種目
壮年ソフトボール（男子）
家庭バレーボール（女子）

三、日　時　一〇月一〇日（水）体育の日
※雨天の場合は一〇月一四日（日）

四、会　場　村民運動場（開会式、閉会式
壮年ソフトボール）
鮫中体育館（家庭バレーボール）

五、主　催　鮫川村

六、参加申込み〆切　九月二七日（木）役場住民課

なお九月二七日（木）午後七時から開発センターで監督会を開きます。

組合せ等については、後日チラシでお知らせします。

（住民課）



健康づくり秋季大会
10月10日(水) 体育の日
村民運動場・鮫中屋体



村では文部省の補助をうけて、新しいスクールバス２台を購入しました。秋の新学期から遠い集落の中学生の皆さんのために運行されます。

健康増進普及運動
９月１日 ～ ９月３０日

たばこは村内の小売店で買いましょう